

*講演者は第1発表者のみ掲載しています。共同発表者は <https://esj.ne.jp/meeting/abst/72/oral_index.html> にてご確認ください。

	Room C	Room D	Room E	Room H	Room I	Room J
Time	景観	保全	進化	生物多様性	菌類・微生物/植物生活史/群落	動物個体群/動物生活史/動物繁殖
14:30					I01-01 南西諸島における造礁サンゴの細菌叢解析 儀武 滉大 (東京大学, 産業技術総合研究所)	
14:45					I01-02 外生菌根菌群集に対する気温の影響: 日本産マツ属全種の解析から 阿部 寛史 (東京大学)	
15:00	C01-01 人口減少期における北海道東部の荒廃農地の分布と傾向 玉田 克巳 (北海道立総合研究機構)	D01-01 アポイ岳の希少植物の生息域外保全について①-エゾキスミレー 水永 優紀 (様似町役場商工観光課)	E01-01 盗葉緑体現象の進化 内海 邑 (日本大学)	H01-01 日本の絶滅危惧種のゲノム情報の集積状況-いま手を打つべきなのはどの種か? Kirill KRYUKOV (情報シス・DS施設)	I01-03 ナラ枯れが枯死木の分解速度と腐朽型に与える長期的影響 畑中 悠和 (東北大学)	J01-01 ニホンミツバチの分蜂回数の増加がコロニーの生残に与える影響 森井 清仁 (国立環境研究所)
15:15	C01-02 中国山地の湿原内における希少植物の分布特性 長棟 光祐 (鳥取大・院・連農)	D01-02 都市林における林冠木伐採後の植物種構成の変化 島田 和則 (森林総研多摩科学園)	E01-02 サイズ選択的な捕食に対する糸状性シアノバクテリアの適応動態 甲斐 光 (東京都立大学)	H01-02 日本沿岸における先史時代のイルカ類の遺伝的多様性 岸田 拓士 (日本大学)	I01-04 清酒醸造の並行複発酵における炭素同位体分別 赤松 史一 (独) 酒類総合研究所)	J01-02 集団遺伝構造に対する移入の影響: 湖沼堆積物とミジンコ休眠卵による実証研究 大竹 裕里恵 (京都大学)
15:30	C01-03 モンゴル高原における砂丘への価値認識の多様性 宮坂 隆文 (名古屋大学)	D01-03 来訪者の踏み入れが奥入瀬溪流の植生に与える影響について 山岸 洋貴 (弘前大学)	E01-03 インドネシア・ボン湖におけるメダカ属魚類の同所的種分化とそのゲノム基盤 柿岡 諒 (琉球大学)	H01-03 体内形態から推測する好白蟻性ハネカクシの生態 金尾 太輔 (山形大学)	I01-05 樹種ごとの葉量の年々変動と過去の気候との関係 吉川 愛梨沙 (東京農工大学)	J01-03 スズメガ科終齢幼虫の模様・形の葉への類似性 萩原 絢子 (神奈川県横浜市)
15:45	C01-04 Designing biodiversity-friendly landscapes: the effects of compositional and configurational heterogeneity on bird species richness in Taiwan Da-li LIN (TW Biodiversity Res. Inst.)	D01-04 倒流木の形態による有機物滞留の違いが河川生態系の生物多様性に及ぼす影響 本田 真奈 (玉川大学)	E01-04 イトヨ属魚類から解き明かす交雑に対する種の堅牢性を規定する遺伝機構 細木 拓也 (北海道大学, 日本学術振興会)	H01-04 昆虫寄生性Tylenchina亜目線虫の棲み分けと利用する宿主の傾向 藤森 友太 (明治大学農学研究科)	I01-06 温帯樹木の開花フェノロジー 池上 真木彦 (国環研琵琶湖分室)	J01-04 河川に生息するヤマメ (<i>Oncorhynchus masou masou</i>) の脂肪酸蓄積量に及ぼす要因 目戸 綾乃 (京都大学)
16:00	C01-05 気候変動が表層崩壊後の森林回復に与える影響のシミュレーション予測 堀田 亘 (北海道大学, 国立環境研究所)	D01-05 都市部里山における植物種多様性: 植生管理の影響を 探る 芳賀 さやか (桜美林大学)	E01-05 染色体の核内3D構造が集団間ゲノム分化に与える影響: イトヨを用いた検証 山崎 曜 (国立遺伝学研究所)	H01-05 底生無脊椎動物群集を用いた複数化学物質の包括的な生態リスク指標の開発 横溝 裕行 (国立環境研究所)	I01-07 10年毎週トランスクリプトーム: ハクサンハタザオにおける季節的遺伝子発現の年間変動 工藤 洋 (京都大学)	J01-05 伊島産ニホンヒキガエルの大型化の要因について 鈴川 春樹 (岡山理科大学)
16:15		D01-06 地表性節足動物の生息場所としての小規模都市公園: 都市化と局所環境要因の影響 小路 晋作 (新潟大学)	E01-06 Maintenance of functional genomic diversity under genomic flatlining in stream eight-barbel loach populations. 猪塚 彬士 (タカラバイオ)	H01-06 藻類食スズメダイのなわばりが大規模白化後のサンゴ群集回復に果たす役割 畑 啓生 (愛媛大学・院・理工)	I01-08 ショウジョウバカマ (シロソウ科) の繁殖形質の地域変異と遺伝的分化 中林 楓 (北海道大学)	J01-06 両生類の変態モデルを用いて推定した生活史パラメータの集団間比較 岩井 紀子 (東京農工大学)
16:30		D01-07 樹液性昆虫の賑わいを決めるスケール依存的要因: 地域・局所・単木 宮下 直 (東京大学)	E01-07 ミジンコにおける光周期に応じた性決定の分子機構の解明 宮川 一志 (宇都宮大学)	H01-07 農地防風林帯が鳥類群集にもたらす利益とコスト 久野 真純 (広島大学・先進理工)	I01-09 成長解析による絶滅危惧種ミズアオイの生活史特性の解明 大森 雅実 (鳥取大学)	J01-07 GPS追跡で明らかになったカラスバトの移動経路と生息環境 安藤 温子 (国立環境研究所)
16:45		D01-08 鳥類の夜間の渡り行動に及ぼす人工光の影響 和賀 大樹 (北海道大学)	E01-08 オオオサムシ亜属における雌雄交尾器の巨大共進化とその遺伝基盤 野村 翔太 (基礎生物学研究所, 京都大学)	H01-08 西表島に生息するカエル類の胃内容から検出された人工物 戸金 大 (慶応大学・生物学教室)	I01-10 Productivity-biomass variation among forest stands reflects tree community structure KOHYAMA TAKASHI (Hokkaido Univ.)	J01-08 集団遺伝学的手法を用いたコピナゴウモリの季節移動とその空間スケールの推定 秋山 礼 (東京大学)
17:00		D01-09 繁殖期と渡り期において交通騒音が鳥類群集に及ぼす影響: 操作実験による検証 鈴木 龍晟 (筑波大学)	E01-09 オスの最適羽化戦略における二型の共存と進化可能性 久保 日嵩 (北海道大学)	H01-09 1970年代以降の都市植物相の変化: 東京都府中市の事例 吉川 正人 (東京農工大学)	I01-11 Changes in demographic performance over 50 years in a lowland rainforest, peninsular Malaysia 飯田 佳子 (FFPRI)	J01-09 ヤマトシロアリ有翅生殖虫の性比と体サイズの地理的変異 北出 理 (茨城大学)
17:15		D01-10 都道府県版レッドリストを活用した指標による国内の生物多様性評価 中西 康介 (国立環境研究所)	E01-10 世代を越えるエピジェネティックインヘリタンスと社会性昆虫の進化 松浦 健二 (京都大学)	H01-10 ウキクサ植物におけるストレス耐性の進化 片山 なつ (東京大学)	I01-12 燧ヶ岳のダケカンパ (<i>Betula ermanii</i>) 林の組成と生態・立地 加瀬 裕亮 (東京農工大学)	J01-10 クロオオアリ女王の蟄居型創設における貯蔵資源の幼虫への給餌 居橋 勇祐 (玉川大学)

* 講演者は第1発表者のみ掲載しています。共同発表者は <https://esj.ne.jp/meeting/abst/72/oral_index.html> にてご確認ください。

	E Room C	Room D	Room E	E Room H	Room I	Room J
Time	Material cycling		進化	Biodiversity		動物繁殖
10:00	C02-01 Seasonal changes in the root exudation rates in a warm-temperate secondary forest 平野 侑 (東京農業大学, 信州大学)		E02-01 生態ニッチモデリングによる八重山諸島のアイフィンガーガエルの分布変遷史推定 上村 亮 (琉球大学)	H02-01 Applicability of phenological spectral features to map invasive alien plant in tropical moist deciduous forest Marzia SULTANA (Hokkaido University)		
10:15	C02-02 Automatic visualization of fine root branching using the deep learning model ARATA 趙 星一 (兵庫県立大学)		E02-02 温暖化はミズナラ・コナラの標高クライム変動を駆動するか? 伊藤 僚祐 (京都大学)	H02-02 多様なオープンソースツールを用いた種分布モデルの改善 Jamie Michael KASS (東北大学, 沖縄科学技術大学院大)		
10:30	C02-03 Mineral-associated organic matter in soils: chemical binding to mineral surfaces and its influence on the degradability 孫 榕蔚 (Japan Atomic Energy Agency)		E02-03 季節型の可塑性によってキタキョウの休眠戦略が進化する条件とは? 廣瀬 草太郎 (九州大学)	H02-03 合成細菌群集を用いた群集集合プロセスの実証的理解 林 息吹 (京都大学 生命研)		
10:45	C02-04 温帯森林流域における窒素循環の長期変動: マツ枯れの攪乱に続く複数の生態学的応答 朱 疆寧 (京都大学)		E02-04 近縁なシロチョウ種間における性フェロモン組成の差異とその遺伝基盤 岡村 悠 (東京大学大学院)	H02-04 Impact of Oak Wilt-Induced Secondary Metabolites on Wood Decay and Fungal Community 李 欣彤 (東北大学)		
11:00	C02-05 The cycling of radiocesium and its transfer to animal communities in forest and river ecosystems 角間 海七渡 (京都大学)		E02-05 地衣類擬態した蝶の模様の複雑性の定量とその進化 鈴木 誉保 (東京大学)	H02-05 Long-term dynamics of plant parasitic and symbiotic fungal communities over the past 30 years revealed by environmental DNA metabarcoding Punnat CHANGSALAK (Grad. Sci. Eng., Chiba Univ.)		J02-01 アマミシカワガエルの秋季産卵事例 藤田 宏之 (埼玉県立川の博物館)
11:15	C02-06 海鳥における水銀汚染の種間差に影響する要因: 世界規模でのメタ解析 大門 純平 (名古屋大学)		E02-06 ヤマトアザミテントウがアザミ属植物に示す隠蔽的な局所適応の実態 中曾根 大輝 (山形大学)	H02-06 Biodiversity consistently promotes ecosystem multifunctionality across multiple temporal scales in aquatic microbial communities Wan-hsuan CHENG (Natl. Taiwan Univ., Ryukoku Univ.)		J02-02 ホヤに卵寄生するアナハゼ類の宿主選択と産卵管長の種間・種内変異: 個体群間での比較 中村 俊介 (大阪公立大学)
11:30	C02-07 Decomposer Diversity and Its Impact on Carbon Sequestration Function in Forest Ecosystems 上村 真由子 (日本大学)		E02-07 生殖様式に関連した花形質の進化過程とその遺伝的背景 土松 隆志 (東京大学)	H02-07 異なる時空間スケールにおけるヒグラシ族セミ科昆虫の集団遺伝構造 湯本 景将 (筑波大学)		J02-03 屋久島で産卵するアカウミガメは一妻多夫から利益を得ていない 畑瀬 英男 (近畿大学農学部)
11:45	C02-08 Fine Root Dynamics across 1-m Soil Layers in a Subtropical Japanese Mangrove Forest Nada YIMATSA (Gifu University)		E02-08 チフンヤマカガシを持つ防御用の毒は卵に受け渡されるのか 森川 晏吾 (京都大学)			J02-04 おっぱいの数と子どもの数—春に少なく夏に多いニホンモンガの子の数— 鈴木 圭 (森林総研九州)
12:00	C02-09 セイヨウトネリコの大量枯死が菌根菌糸の生産と呼吸に及ぼす影響 今井 伸夫 (東京農業大学)					

* 講演者は第1発表者のみ掲載しています。共同発表者は <https://esj.ne.jp/meeting/abst/72/oral_index.html> にてご確認ください。

	Room C	Room D	Room E	Room H	Room I	Room J
Time	生態系管理		物質循環	生物多様性/動物と植物の相互関係	植物個体群	Animal population / Life history of animals / Animal reproduction
14:00	C02-10 外来生物の侵入拡散および定着状況の可視化手法の検討 太下 蓮 (龍谷大・院・理工)		E02-09 爆弾放射性炭素と葉の博物館本を用いたクロロフィル a 分子への土壌炭素の寄与率推定 石川 尚人 (海洋研究開発機構)	H02-08 窒素沈着による生物多様性影響の量的評価の可能性 林 健太郎 (地球研)	I02-01 どのような遺伝的多様性が生産性を向上させるか: ウキクサを用いた関連解析 西川 こたね (千葉大学)	J02-05 Allee effect in the clonal ant, <i>Pristomyrmex punctatus</i> Kazuki TSUJI (University of the Ryukyus)
14:15	C02-11 多摩川河川敷における竹林の分布と拡大 前田 海音 (東京農工大学)		E02-10 FT-ICR MSを用いた泥炭地におけるヨーロッパアカマツの根分泌物の分析 中村 晃康 (兵庫県立大学)	H02-09 サロベツ温原泥炭探掘跡地の遷移におけるミズゴケいしょくの効果 徐 伊 (北海道大学)	I02-02 適度な遺伝的多様性が出芽酵母の増殖特性を向上させる 富山 絵 (千葉大・院・融)	J02-06 Examination of mainstream-tributary movement of riverine fish using environmental DNA 宮園 誠二 (山口大学)
14:30	C02-12 農地雑草の侵略可能性: 作目ごとの侵入可能性と雑草の侵略性の分析 松橋 彩衣子 (農研機構)		E02-11 石狩川低地帯における牧野法を活用したバイオマス資源管理 佐々木 章晴 (北海道大学)	H02-10 植物上の節足動物群集を環境DNAと植物揮発性物質から紐解く 米谷 衣代 (近畿大学)	I02-03 多年生一回繁殖型植物の開花時間を延長するクロノラルラメットと発芽実生の非対称競争 梅田 栄作 (東京都立大学)	J02-07 A Look Into Habitat Occupancy of Mammals in Forest Reserves and Agricultural Plantations in Southeast Asia Ku noor khalidah Binti KU HALIM (HIROSHIMA UNIVERSITY)
14:45	C02-13 森林へのバイオチャー施用は炭素隔離策として有効か? ~LCAによる包括的評価~ 樽見 知樹 (早稲田大学)		E02-12 中国黄土高原の半乾燥地に生育する主要4樹種の根圏における土壌養分特性 細川 奈々枝 (森林研究・整備機構)	H02-11 アカネズミとヒメネズミの直腸糞と排泄糞のDNAメタバーコーディング解析 大石 圭太 (神奈川県自環保C)	I02-04 インドネシア有用樹種・ファルカタの気候変動に対する遺伝的強靱性の解明 小沼 佑之介 (筑波大学)	J02-08 回遊性サケ科魚類における河川・海洋依存度の緯度変化: 気候変動は回遊型の喪失を招く 後藤 暁彦 (東京大学)
15:00	C02-14 防風林更新地は伐採後何年まで草原性蝶類の生息地になるのか? 十勝地域での事例 大橋 淳 (桜美林大学)		E02-13 新潟県佐渡市を例にした農業生態系における窒素・リン・カリウムのフローと循環の解析 三島 慎一郎 (農研機構)	H02-12 植物の花弁に見られる蛍光とその適応的意義の解明 西澤 空 (東京大学)	I02-05 サクトベラの散布形質における果実二型の遺伝的基盤 栄村 奈緒子 (鹿児島大学, 京都大学)	J02-09 3次元モデリングによるウミネコ巢形態の多様性評価 岡村 太路 (名古屋大学)
15:15	C02-15 管理様式が異なる落葉二次林での落葉低木3種の開花結実量の違い 森本 ななみ (東京農工大学)		E02-14 世界自然遺産・知床周辺海域の海水変動予測と海洋生態系への影響 三寺 史夫 (北海道大学)	H02-13 クスノキの葉柄はなぜ赤いのか?: 疑似イモムシの捕食率と葉柄色の関係 南 皓太 (鳴門教育大学)	I02-06 ブナ稚樹における春の季節性の標高間変異と遺伝率 石田 清 (弘前大学)	J02-10 イトヨの季節性繁殖を制御する下垂体細胞の遺伝子発現動態 Liang LIU (東京大学)
15:30	C02-16 Webアプリを用いた自然に関する取り組みの評価手法開発と試行 三鬼 裕泰郎 (京都産業大学)		E02-15 海浜植物4種に関するCO ₂ フラックスの季節変化 寺本 宗正 (鳥取大学)			
15:45			進化	動物と植物の相互関係	植物生理生態	
16:00	C02-17 放棄水田・池を活用したNbS: 農業生産、水質、生物多様性が三方良しとなるためには 松崎 慎一郎 (国立環境研究所)		E02-16 絶対相利共生系はストレス環境に脆弱なのか? ~微生物を用いた実験室進化による検証~ 砂川 純也 (北海道大学)	H02-14 ラン科ヨウライランの送粉生態: どのようにタマバエを誘引するのか? 砂川 勇太 (東京大学)	I02-07 樹木による揮発性有機化合物: 葉に貯蔵される防御物質の生産スケジュール 巖佐 侑 (九州大学)	
16:15	C02-18 農業害虫ハダニ類の集団遺伝構造と環境要因との関係 駒形 泰之 (宮城農園研, 東北大学)		E02-17 生態-進化動態と相利系の安定性 藤田 大樹 (大阪公立大学)	H02-15 送粉者の採餌行動は、血縁認識による植物の花弁サイズの進化を方向づける 冨塚 暖史 (東京都立大学)	I02-08 絶滅危惧植物チョウジソウの発芽・生長特性 石川 真一 (群馬大学情報学部)	行動
16:30	C02-19 堆積物DNAを用いた100年間にわたる海産浮遊性カイアシ類の長期動態に関する研究 槻木 玲美 (松山大学)		E02-18 全ゲノムデータに基づく日本のツキノワグマ個体群の遺伝的多様性の評価 遠藤 優 (国立遺伝学研究所)	H02-16 十畿十色: 訪花性スズメガ類における花の向きの違いに対する行動反応の多様性 岡島 紗良 (筑波大学)	I02-09 日本列島の木本性つる植物における広域分布パターンおよび木部道管形質の登攀タイプ間差 日下部 玄 (東京大学)	J02-11 ウシガエルの生殖巣重量と逃避時間の関係 沼澤 青葉 (京都大学)
16:45	C02-20 海鳥の餌種のスイッチは海洋気候レジームシフトと一致する 綿貫 豊 (北海道大学)		E02-19 鯨類のヒレの3次元形状が生み出す流体力の種間比較 三岡 夏美 (東京農業大学)	H02-17 折り紙で探る花の謎: チョウ蝶花の向きと形の組合せがアゲハの盗蜜頻度におよぼす影響 小西 陽巳 (筑波大学)	I02-10 茨城県のスギ人工林において斜面位置による苗木の成長の違いとその要因 齋藤 隆実 (森林総合研究所)	J02-12 ツチガエルの捕食回避戦略: におい成分分析とミューラー型擬態の可能性 吉村 友里 (九州大学, QOU)
17:00	C02-21 景観構造と人由来の餌資源利用はニホンジカのストレスに影響するのか? 高本 樹 (日本獣医生命科学大学)		E02-20 血管構造の可視化から探るオガコマッコウの尾鰭・背鰭における熱交換機構の意義 スミス アシュレイ梨花 (東京大学)	H02-18 ノブドウ果実の季節で異なる着色パターンとその種子散布者 北村 俊平 (石川県立大学)	I02-11 Response of fine-root traits to nitrogen deposition decoupled along the economics spectrum 孫 麗娟 (蘭州大学)	J02-13 沖縄県に生息するトカゲ5種の採餌行動に関連した体温調節について 辺土名 朝暉 (琉球大学)
17:15	C02-22 総個体数と問題個体数に基づくヒグマ管理モデル 松田 裕之 (横浜国立大学)			H02-19 食虫植物 <i>Drosera indica</i> complex はスペシャリストか? ジェネラリストか? 田川 一希 (鳴門教育大学)	I02-12 アカイタヤとエゾイタヤはなぜ同所でも耐乾燥性が異なり生殖隔離するのか 森 茂太 (山形大学)	J02-14 機械学習を用いたアオリイカのボディパターン解析手法の開発 千葉 瑞萌 (東京大学)
17:30	C02-23 常設型撮像装置から得られた画像とAIを用いた魚体長組成の精度評価 柴田 泰宙 (水産研究・教育機構)			H02-20 種間相互作用強度は相利共生や被食捕食といった関係の違いを超えて普遍的に分布する 北條 拓也 (大阪大学大学院, 広島大学大学院)		

* 講演者は第1発表者のみ掲載しています。共同発表者は <https://esj.ne.jp/meeting/abst/72/oral_index.html> にてご確認ください。

	E Room C	Room D	Room E	E Room H	Room I	Room J
Time	Ecosystem management	保全	数理	Animal-plant interaction	植物生理生態	行動
10:00	C03-01 Effects of disturbances derived by tropical cyclones on mangrove forests in Bangladesh using remote sensing Nilufa AKHTAR (Hokkaido Univ.)	D03-01 GPS追跡位置から予測した野外放鳥コウノトリの日本全国出現確率予測マップ 山田 由美 (兵庫県立大学)	E03-01 次元削減による生態系特異性の解析 長田 穰 (東北大学)	H03-01 Genetic homogeneity in <i>Solidago altissima</i> promotes aphid spillover and host expansion. Amna ILYAS (Hokkaido university)	I03-01 土壌肥沃度勾配に沿った葉の寿命、窒素吸収、葉窒素の平均滞留時間の変化 及川 真平 (茨城大学)	J03-01 トレードオフもハチそれぞれ：マルハナバチの採餌戦略は学習過程で変化するか？ 竹内 希海 (筑波大学)
10:15	C03-02 Effects of quantum dots on photosynthetic microorganisms Haoge ZHANG (Institute of science tokyo, Department of TSE, Cross Lab)	D03-02 湛水開始時期は水田地帯のカエル類の分布に影響するか？衛星画像を用いた生息適地推定 安野 翔 (埼玉県環科国セ)	E03-02 ノンパラメトリック検定はどのような内容を検定しているのだろうか 粕谷 英一 (大阪公立大学)	H03-02 Turnip mosaic virus infection on <i>Arabidopsis halleri</i> suppresses aphid fecundity by altering host physiology in the natural habitat 大坪 雅 (京都大学)	I03-02 ヒメツリガネゴケAP2転写因子過剰発現体の赤色光応答 瀬川 ころり (京都工芸繊維大学)	J03-02 都市化の影響を受けるスズメバチ2種の餌ニッチの分化と適応 佐賀 達矢 (神戸大・院・人間発達)
10:30	C03-03 Assessment of Agricultural Ecosystem Services and Disservices within the Water-Energy-Food Nexus: A Methodological Framework and Case Study Analysis Kuanting LIN (National Taiwan University)	D03-03 炭素・窒素安定同位体比から見るオオサンショウウオ幼生と溪畔林の関係性 苅部 甚一 (近畿大学)	E03-03 シダ植物における繁殖様式はF統計量から推定できるか？ 別所 和博 (埼玉医科大学)	H03-03 Tracing the evolution of herbivory: insights from fossils of insect-damaged leaves 藤井 駆陸 (京大)	I03-03 解剖学的構造を仮定した葉形態の3次元フェノタイプング手法 松原 壮吾 (九州大学)	J03-03 痕跡ではないワーカーの生殖虫分化能：ヤマトシロアリワーカーにも巡ってくる繁殖機会 高田 守 (京都大学)
10:45	C03-04 Ecological Calendars for Climate Change Adaptation and Resilience in the Indian Himalayas Shraddha Krishna PANDA (Hokkaido University)	D03-04 ため池に生息する水生昆虫に自然災害が及ぼす影響とその保全 西原 昇吾 (中央大学理工学部)	E03-04 遺伝子流動と自然選択の傾斜がもたらす表現型勾配：植物の都市進化を例に 三宅 慶典 (東京都立大学)	H03-04 Mutualistic adult networks, rather than antagonistic larval networks, may matter for the stability of hybrid ecological communities 李 奕徳 (台湾国立成功大学)	I03-04 季節性が乏しい熱帯環境ではわずかな温度低下で劇的な低温度応答を示す 中田 泰地 (九州大学)	J03-04 巣穴を作らないアリジゴクの行動の比較 奥野 泰智 (近大学附属豊岡中学)
11:00	C03-05 Exploring the Mitigation Capacity of Urban Green Spaces in Tokyo Cathlyn SUIZO (東京都立大学)	D03-05 核DNAマーカーを用いたバラタナゴ (<i>Rhodeus ocellatus</i>) の導入および交雑状況の解明 太古 数馬 (兵庫県立大学大学院)	E03-05 性転換魚において劣位個体が雌になるのは、優位個体による追放を回避するためか？ 山口 幸 (東京女子大学)	H03-05 Which form of urbanisation drives the seed dispersal by non-native raccoon dog? Harsh YADAV (Yokohama National University)	I03-05 小型衛星群画像を用いた陸域生態系観測の新展開 楊 偉 (千葉大学)	J03-05 インフルエンサーは昆虫にも存在するか？：群れの表現型構成に対する同調行動の帰結 浜道 凱也 (千葉大・院・融)
11:15	C03-06 Effects of urbanization on insect-pollinators in Bolivia and Japan Emmilce MORILLAS AGREDA (Hokkaido University GSES)	D03-06 山椒は外来魚にもビリリと辛い 一水生昆虫に優しい新たな侵略的外来魚駆除法 苅部 治紀 (神奈川県立博物館)	E03-06 血縁者間の混合戦略をとる協力的ゲームに現れる複雑な適応地形 山内 淳 (京都大学)	H03-06 The role of synzoochory by native rodents in seed dispersal network of a Malagasy dry forest 大河 龍之介 (京都大学)	I03-06 3次元クリノスタットを用いた微小重力下のヒメツリガネゴケAP2過剰発現体の光合成応答 奥川 颯馬 (京都工芸繊維大学)	J03-06 死んだふりしている場合じゃない一擬死したオスはメスの性フェロモンで目覚める一日室 千尋 (沖縄病害虫防技セ, 琉球産経 (株), 琉球大学農学部)
11:30	C03-07 The unnatural history of predators in Japan: from the Pleistocene to today Everton Bernardo pereira de MIRANDA (Tohoku University)	D03-07 汽水域におけるマイクロプラスチックから抗生物質の脱着と微生物群集への影響 テイ シャク (東京科学大学)	E03-07 植食性昆虫の採餌戦略が植物-昆虫群集の多様性に及ぼす影響 難波 利幸 (大阪公立大学)	H03-07 Nocturnal moth pollination as a complementary role of diurnal pollinators 永野 裕大 (東大・農)	I03-07 京都市内における交通量の違いが街路樹の光合成及び気孔コンダクタンスに与える影響 内貴 智仁 (京都工芸繊維大学)	J03-07 被食者の対捕食者防衛による捕食者の多種共存 瀧本 岳 (東京大学)
11:45		D03-08 Current and future distributions of two endangered surfgrass species (<i>Phyllospadix iwatensis</i> and <i>P. japonicus</i>) in Japan 伊藤 (阿部) 美菜子 (国立科学博物館)	E03-08 ニホンオオカミの餌動物と行動圏 加藤 元海 (高知大学)	H03-08 Genomic prediction of neighbor effects identifies key genotype pairs responsible for reduced herbivory in mixed planting 佐藤 安弘 (北海道大学, 龍谷大学, チューリッヒ大学)	I03-08 鉱山跡地で生育するトドマツの内生菌の関与した鉄耐性機構の解明 春間 俊克 (森林総研)	
12:00				H03-09 Flower-visiting flies: A database of records from published studies David William INOUE (University of Maryland, Rocky Mtn. Biological Lab)		

* 講演者は第1発表者のみ掲載しています。共同発表者は <https://esj.ne.jp/meeting/abst/72/oral_index.html> にてご確認ください。

	Room S	E Room D	Room E	Room H	Room I	Room J
Time	シカ害問題	Conservation	E Mathematical ecology	動物と植物の相互関係/動物群集	植物生理生態/植物繁殖	E Behavior
14:00	S06(O)-01 アカマツ枝食害調査を用いたシカ採食圧及び捕獲事業の評価 島田 慎吾 (兵庫県立大・地域資源,豊岡市農林水産課)	D03-09 Developing a High-Resolution Simulation Model of Aromia bungii Spreads in Saitama Prefecture Irhamilah KHAMSIM (Saitama University)	E03-09 Cannibalism and intraguild predation benefit consumer persistence despite negative impact on individual performance Hsiang-chih LO (National Taiwan University)	H03-10 大山麓山地域へのニホンジカ(Cervus nippon)の侵入と植生への影響 熊崎 莉子 (鳥取大学・農)	I03-09 高解像度人工衛星と定点観測カメラを用いた筑波実験植物園の植生フェノロジー観測 中村 涼 (筑波大学)	J03-08 木材腐朽菌チャカワタケにおける菌糸成長の定量化とCa ²⁺ シグナルの可視化 濱野 公輔 (東北大学大学院)
14:15	S06(O)-02 過採食が20年間続く冷温帯天然林におけるニホンジカの環境嗜好性 太田 果南 (京都大学)	D03-10 Population structure of sedentary cold stenothermal fish in fragmented riverscape with natural and artificial barriers ゴウイイ (北海道大学)	E03-10 Optimal allocation schedule of plant under the competition Bo-moon KIM (Center for Ecological Research)	H03-11 九州 (福岡、宮崎) のシカの食性 高槻 成紀 (麻布大学)	I03-10 ウイルス感染によるハクサンハダオオの冬季ストレス耐性とアントシアニン蓄積への影響 本庄 三恵 (京大・生態研セ)	J03-09 Extraordinary thermoregulation abilities of shortfin mako sharks as the key adaptive significance of regional endothermy in fishes 徳永 社真 (総合研究大学院大学)
14:30	S06(O)-03 糞中DNA分析による放棄落葉広葉樹二次林におけるニホンジカ食性の季節変化の解明 兼松 隆乃介 (東京農業大学)	D03-11 Toxicity Effect of Artificial Micro-Polymer Mixture on Daphnia Magna Kimieng KEANG (Institute of Science Tokyo)	E03-11 Optimal seasonal schedule for the production of isoprene, a highly volatile biogenic VOC 林 玲奈 (九州大学)	H03-12 ステージ構造化された相利共生の進化: 子を助けるか、親を助けるか、両方を助けるか 仲澤 剛史 (国立成功大学)	I03-11 葉脈ネットワーク構造の全球的解析と形態的多様性 野下 浩司 (九州大学)	J03-10 オホーツクヘラムシにおける代替捕食回避戦略: 微小生息地との関係 五十嵐 公一 (北海道大学)
14:45	S06(O)-04 シカ採食圧が森林の窒素循環および窒素蓄積量に与える影響 付 東川 (九州大学)	D03-12 Toxicity effect of tire particles on paddy growth Snehal Narayan WASNIK (Institute of Science Tokyo)	E03-12 Cascading regime shift in the freshwater phytoplankton community 深澤 陸 (東北大学)	H03-13 一次遷移におけるアリ群集の食性変化: 安定・放射同位体と餌選択実験による評価 兵藤 不二夫 (岡山大学)	I03-12 梢端定点撮影に基づくオイルバームの果実生産速度の制御要因推定 羽田 泰彰 (東京大学)	J03-11 Do parasites manipulate nocturnal hosts according to the lunar cycle? 朝倉 日向子 (京都大学)
15:00	S06(O)-05 林床の構造的複雑性をもたらすシカの行動変化と林床植物の多様性 西澤 啓太 (東京大学)	D03-13 Feasibility of community-based bushmeat management in Central African rainforest - Development and implementation of hunting game- 赤岡 祐治 (京都大学)	E03-13 Predator response to perceived prey similarity shapes the dynamics of mimicry systems Yi SUN (National Taiwan University)	H03-14 大規模カメラトラップ調査の結果を基にした日本とアメリカの動物個体数比較 寺山 佳奈 (国立環境研究所)	I03-13 Shorea albidiaの樹洞を伴う成長特性とその可塑性 門田 有佳子 (生存圏研究所)	J03-12 吸盤 vs キック: ハイロゲンゴロウにおける雄の吸盤と雌の踵が交尾に及ぼす影響 竹内 成太 (香川大学)
15:15	S06(O)-06 下層植生の除去がミズナラ林の純一次生産に及ぼす影響 榎木 勉 (九州大学)	D03-14 Factors influencing the frequency of nature play among Vietnamese urban and rural children: A parent-child paired survey approach Van Mai TRUONG (Hiroshima Univ.)	E03-14 信仰は環境保全を促進するのか? 文化進化モデルによる検討 柴崎 祥太 (国立遺伝学研究所)	H03-15 局所的スケールの景観は都市の鳥類の出現を特徴づける 増田 侑太郎 (東京都立大学)	I03-14 バイケイソウ個体群における一斉開花現象の進化的意義: 開花同調と選択圧の関係 伊藤 陽平 (北海道大学)	J03-13 Cleaner fish that perform mirror self-recognition increase their body size assessment as their memory decline, suggesting the metacognitive capacity 小林 大雅 (公立大宮)
15:30			E03-15 How to quantify interaction strengths? -- critical rethinking on interaction Jacobian and their evaluation methods 三木 健 (Ryukoku Univ)		E Plant population/Life history of plants/ Plant ecophysiology	
15:45			数理	動物群集	I03-15 ソンドラ植物-土壌相互作用と機能の非線形な温暖化応答とその関係 谷川 鴻介 (スウェーデン農科大)	行動
16:00	S06(O)-07 シカ死体の腐肉が森林の土壌微生物群集の分解機能を上げる 高木 博司 (北海道大学)	D03-15 地点数の増減傾向にもとづく神奈川県管束植物1,865種のトレンド評価 夫婦石 千尋 (九州大学)	E03-16 迅速な進化は振動依存の多様共存をどのように促進するか? 山道 真人 (国立遺伝学研究所)	H03-16 利根川中流域の水田地帯を流れる河川における魚類群集の季節変化 川村 敦 (株式会社CTIリード)	I03-16 Distribution and population dynamics of two <i>Aquilaria</i> species in tropical lowland rainforests in Leyte, Philippines ボゴサジミー (名大生体農,ピサヤ州立大)	J03-14 ミンサザイの雄は非繁殖期に翌繁殖期のためのなわばりを確保する 懸田 彩可 (京都大学)
16:15	S06(O)-08 ニホンジカによるサンショウバラ果実の消費 船本 大智 (東京農業大学)	D03-16 沖縄県道2号線及び70号線における脊椎動物のロードキル発生状況 丸田 裕介 (琉球大学)	E03-17 時計遺伝子プロモーターにおけるヒストン修飾レベルの概日リズム変動に関する数理解析 豊福 直也 (九州大学)	H03-17 気候変動下における日本の河川生態系への濁水攪乱の影響 中川 光 (土木研究所)	I03-17 How does frequency-dependent selection vary between urban and rural landscapes? 石黒 智基 (北海道大院環境科学院)	J03-15 越冬なわばりを共有する渡り性猛禽類ノスリの雌雄間の社会関係 中原 亨 (北九州市博)
16:30	S06(O)-09 モニタリングデータの大規模統合に基づく全国のニホンジカ個体密度分布推定 深澤 圭太 (国立環境研究所)	D03-17 From past to future: Modeling the climate-driven niche dynamics of endangered Indonesian <i>Cestonopsis</i> species Agung Hasan LUKMAN (University of Tsukuba, Universitas Bengkulu)	E03-18 自然攪乱に対する生物群集の多次元安定性の評価: 岩礁間帯を例に 石田 拳 (海洋研究開発機構)	H03-18 自然攪乱に対する生物群集の多次元安定性の評価: 岩礁間帯を例に 石田 拳 (海洋研究開発機構)	I03-18 The Different Life History Strategies of Epiphytic Orchids in a Seasonally Dry Tropical Forest, Madagascar 野依 航 (京都大学)	J03-16 ハンボンゴラスの移動の動態と日中の利用環境 新宮 仁大 (名古屋大学)
16:45	S06(O)-10 南アルプス森林限界の水源地環境調査 渡辺 信 (琉球大学)	D03-18 東南アジアにおけるマレーバク (<i>Tapirus Indicus</i>) の動態史 Qi luan LIM (北海道大学地環研)	E03-19 環境DNAデータベースで明らかにする魚類群集の変動パターンと地理的要因の関係 幸 海渡 (東北大学)	H03-19 東北地方太平洋沖地震後の岩礁間帯帯固着生物群集の変化 岩崎 藍子 (東北大学)	I03-19 ソメイヨシノの休眠打破時期の推定: 分子フェノロジーの緯度クラインを用いて 桑門 温子 (九州大学,日本学術振興会)	J03-17 自作風洞を用いた鳥の飛行生態研究 菊地 デイル万次郎 (東京農業大学)
17:00		D03-19 短期的農地湛水が渡り性水鳥に与える効果 清水 孟彦 (北海道大学)	E03-20 環境DNAデータベースで明らかにする魚類群集の変動パターンと地理的要因の関係 幸 海渡 (東北大学)	H03-20 日本沿岸環境DNA観測を用いた時系列解析が示す生物多様性動態の創発と普遍性 川津 一隆 (東北大学)	I03-20 How mistletoe affects the growth of host trees in a cool-temperate forest: insight using tree-ring isotopes. 村田 紗也 (京都大学)	J03-18 行動圏と採餌行動にみるオオミズナグリの雌雄差: 大島と粟島の繁殖個体を対象に 屋敷 智咲 (名古屋大学)
17:15		D03-20 絶滅危惧種ニホンザリガニの存在に対する気候要因と土地利用要因の相互作用の影響 賈 イ (北海道大学)	E03-21 環境DNAデータベースで明らかにする魚類群集の変動パターンと地理的要因の関係 幸 海渡 (東北大学)	H03-21 環境DNAデータベースで明らかにする魚類群集の変動パターンと地理的要因の関係 幸 海渡 (東北大学)	I03-21 History and density dependence improve population forecasts in 6 perennial herb species Richard SHEFFERSON (University of Tokyo)	J03-19 野生ニシゴリラにとってのアフリカショウウガの重要性を食痕計測から再評価する 田村 大也 (京都大学)
17:30					I03-22 Mangrove Forests: Natural Laboratories for Studying Epigenetic and Climate Changes Matin MIRYEGANEH (IOIST)	J03-20 市街地に暮らす野生動物: カメラトラップ調査による京都市内とその近郊の比較 山本 結輝 (京都大学)
17:45					I03-23 Comparison of Leaf Area Index in Tropical Dry-Deciduous Forests between Model-Estimated Phenology and Satellite Observation Data Prapawadee NUTIPRAPUN (The University of Tokyo)	J03-21 ヤツメウナギに左右性はあるのか? 一産卵時に巻き付くヤツメと回るヤツメー 三枝 弘典 (北海道大学)

* 講演者は第1発表者のみ掲載しています。共同発表者は <https://esj.ne.jp/meeting/abst/72/oral_index.html> にてご確認ください。

	E Room C	Room D	Room E	E Room H	E Room I	Room J
Time	Evolution	外来種	生態学教育・普及	Animal community	Succession and regeneration/Fungi and microbes	Behavior
10:00	C04-01 ベイツ擬態の捕食圧評価: シロオビアゲハを用いた擬態遺伝子型頻度の性間・島間比較 吉岡 秀陽 (琉球大学)	D04-01 圃場におけるスクミリンゴガイ捕獲トラップの防除効果 松村 あぐり (奈良女子大学)	E04-01 日本における気候変動に対する認識の世代間ギャップ 古川 真莉子 (国立環境研究所)	H04-01 糞の分解を目的とした外来糞虫の導入は在来食糞性昆虫を減少させる 明石 涼 (北海道大学)	I04-01 伐採後のボルネオ熱帯降雨林におけるシダ・ツルに覆われた森林の動態とその拡大 竹重 龍一 (国立環境研究所)	J04-01 Consistent individual differences in green anole boldness and its response to robot conspecifics 酒井 理 (東京農工大学)
10:15	C04-02 Evolution of Seasonal Gene Expression Dynamics in Fagaceae Trees 工藤 秀一 (九州大学)	D04-02 外来社会性昆虫の早期発見・防除のための最新技術開発と防除システム構築 坂本 洋典 (国立環境研究所)	E04-02 生態学教育が大学生の生物多様性研究の経済的価値認識に与える影響 林 亮太 (日本工営(株))	H04-02 How variations in species traits affects environment-community structure relationships? A case study on the amphipod assembly in northeastern Japan 関岡 寛知 (北海道大学)	I04-02 Do woodpeckers increase tree falls? Implications for a new ecosystem function 安田 和真 (東京農工大学)	J04-02 Virtual Nemo: An innovative system to reduce the number of lab animals required for behavioural experiments Noah LOCKE (OIST)
10:30	C04-03 Vegetative-Compatibility type diversity as a fungal "social distancing" strategy against viral infection. 南 駿 (総合研究大学院大学)	D04-03 外来種の貝類がもたらした新たな外来寄生虫の日本定着について 脇 司 (東邦大学)	E04-03 「ナチュラルサイエンスイラストレーション制作ガイドライン」の作成に向けて 裘 夢雲 (日本大学 芸術研)	H04-03 カメラがとらえた食物連鎖: モリアオガエルの樹上と地上の卵における捕食者と捕食圧 市岡 幸雄 (名古屋大学)	I04-03 伐採後の劣化したボルネオ島熱帯雨林における地下部のレジームシフト 秦 倩凝 (国立環境研究所)	J04-03 ヒキガエルのオタマジャクシにおける混血集団内での血縁者識別の可塑性 長谷 和子 (東北大学)
10:45	C04-04 The influence of host anemones on the anemonefish <i>Amphiprion clarkii</i> Jann ZWAHLEN (OIST)	D04-04 利根川水系の魚類から新たに発見された外来寄生虫の分布と生活史 齊藤 佳希 (東邦大学)	E04-04 「進化」の概念をどう伝えるかーバードウォッチングと生態学入門を組み合わせた実践ー 矢崎 英盛 (東京都立大学)	H04-04 Stability analysis of multispecies communities targeting bacteria 島 玄太 (京都大学)	I04-04 The quantitative analysis of root distribution patterns of herbaceous species by scanner images on post-mined peatland, Sarobetsu mire 趙 宸 (北海道大学)	J04-04 アホウドリにおける雌雄間求愛コミュニケーション中の他個体との社会的相互作用 太田 菜央 (兵庫県博)
11:00	C04-05 ヨウ素不足環境へのトゲウオの適応 神部 飛雄 (総合研究大学院大学, 国立遺伝学研究所)	D04-05 高標高域から延びる登山道は高山・亜高山帯への外来植物種の拡散を助長するか 小山 明日香 (森林総研)		H04-05 着生植物密度の違いは林冠のアリ群集の構造の違いをもたらすか? 中辻 宏平 (東京農工大学)	I04-05 Seed bank dynamics and vegetation composition on the volcano Mount Usu Piya MANDAL (Hokkaido Univ.)	J04-05 Habitat selection of Japanese serow (<i>Capricornis crispus</i>) in Ome, Tokyo Kushaal SELVARAJAH (TUAT)
11:15	C04-06 A comparative study on morphological plasticity of <i>Hynobius salamanders</i> 福山 伊吹 (北海道大学)	D04-06 絶滅危惧種ヒメフウロにおける在来および外来集団間の生育特性の比較 姉川 盤音 (京都大学)		H04-06 Ongoing collapse of avifauna in temperate oceanic islands close to the mainland in the Anthropocene 飯島 大智 (東京都立大学, 伊豆諸島鳥研GRP, 筑波大学)	I04-06 Influence of tephra deposition and acid precipitation on the growth of Sphagnum – evidence from a mesocosm experiment Stefan HOTES (Chuo University)	
11:30	C04-07 Evolutionary history of cytoskeleton-driven egg shape diversity in the <i>Achellognathus bitterling</i> 土山 佳祐 (九州大学大学院)			H04-07 夜間人工光に対する海洋付着生物群集の応答 津金 響子 (北海道大学)	I04-07 The more the merrier? Effects of plant density on the conditioning of soil microbial community. Chin te TSAI (National Taiwan University)	
11:45	C04-08 Modes of speciation tend to vary with latitude in ferns Jose Said GUTIERREZ-ORTEGA (RIKEN iTHEMS)			H04-08 Interspecific interactions associated with edge effects in Northern Pika habitats of the Daisetsuzan National Park, Japan Sajidah salsabila ANNISA (Hokkaido Univ.)	I04-08 The effect of type and combination of fertilizers on eukaryotic microbiome of date palm rhizosphere Juha ALATALO (Qatar University)	
12:00					I04-09 The Ecological Role of Geese in Shaping Arctic Microbial Communities Xinyu XU (The Univ. of Tokyo)	

* 講演者は第1発表者のみ掲載しています。共同発表者は <https://esj.ne.jp/meeting/abst/72/oral_index.html> にてご確認ください。

	Room S	Room D	Room E	E Room H	E Room I	E Room J
Time	音響生態学			Landscape ecology	Plant community	Behavior
14:00	S13(O)-01 鳥の鳴き声学習ツールと リトレの効果検証: 体験 者の種判別能力と鳥への 関心の変化から 小川 結衣 (筑波大学, 国立 環境研究所)			H04-09 Forecasting the climate connectivity of Japan's flora David ARMITAGE (OIST)	I04-10 Assessing seasonal litterfall patterns across major Cambodian forest types: A three-year study Sopheak THAV (名大生命農, カンボジア王立農業大)	J04-06 Predation of aquatic animals by mid-sized mammals in agricultural fields 中島 悠希 (北海道大学農 学院)
14:15	S13(O)-02 マイクアレイによる公園 のにぎわい可視化技術と その生物多様性調査への 応用可能性検討 柳楽 浩平 (ハイラブル株 式会社)			H04-10 From local to global – Integrating the Japanese habitat classification system with the IUCN global typology Lea VEGH (NIES)	I04-11 Allometric Scaling Models: Integrating Interspecific Ecological Constraint to Explain Tree Architecture Diversity Duyen Thi NGUYEN (XTBG, CAS)	J04-07 野ネズミによるクリ虫害 堅果の採餌戦略: 虫害の 種類で行動を変えるの か? 梶田 瑠依 (名古屋大学)
14:30	E S13(O)-03 市民による生物季節観測 を支援する音響モニタリ ング: 富山市の事例 和田 直也 (富山大学)			H04-11 Multidimensional approaches to evaluate the impacts of volcanic gas on vegetation decline at Tateyama Mountain Japan Sharmin SHISHIR (University of Toyama)	I04-12 Understanding the ecological strategy of dominant tree species from their height- diameter relationships in a seasonally dry tropical forest 藤本 悠太郎 (京都大学)	J04-08 The weeding behavior of <i>Stegastes nigricans</i> under ocean acidification stress Amira AZMAN (Grad. School of Eng. and Sci., University of the Ryukyus)
14:45					I04-13 Contribution of intra- specific synchrony to ecosystem stability in Mongolian steppe 石井 直浩 (鳥取大学, 横浜 国立大学)	J04-09 Insights into the foraging ecology and northward movement of northern fur seals (<i>Callorhinus ursinus</i>) using stable isotopes and satellite tracking Heping LI (京都大学)
15:00					I04-14 Context dependence of coexistence between two rocky intertidal sessile species <i>Chthamalus dalli</i> and <i>Gloiopeltis furcata</i> 姚 逸 (北大・院・環境)	J04-10 ウミネコの環境利用の年 齢変化: 高齢な個体ほど 海の利用が減る 杉山 響己 (名古屋大学)
15:15					I04-15 南九州の都市部における スミレ属2種の共存のメカ ニズム 渡部 俊太郎 (鹿児島大学)	J04-11 エトピリカのバクバク戦術: 親鳥が複数の獲物を嘴に保持 しながら狩りをする仕組み 畑山 優香 (東農大・農・生物 資源, 現・北大生命科学学院)
15:30					I04-16 Aboveground and belowground trait associations in a grassland community Hiroko KUROKAWA (Kyoto Univ.)	J04-12 Water-borne chemicals from bio-fouled plastic might be the key to marine debris mis-ingestion in green turtles rather than visual cues 呂 律 (東京大学)
15:45					I04-17 Drought tolerance and species abundance mediate dry season negative density dependence in a tropical forest Xiaoyang SONG (西双版纳熱帯植 物園)	